

ドローン物流における河川上空の活用円滑化に向けた天塩川(上流)の基本的考え方 (Ver.1.0)

策定 令和6年6月26日

本基本的考え方は、ドローン物流(ドローンを活用した荷物等配送)における河川上空の活用円滑化に向けた基本的な考え方を記載したものである。なお、本基本的考え方は、「ドローンを活用した荷物等配送に関するガイドライン(国土交通省)」(以下、「ガイドライン」という。)を補完するものであり、本留意事項に記載のない事項は、ガイドラインを参照するものとする。また、本基本的考え方は、今後、さらにドローン物流が活性化し、複数のドローンが飛び交う将来を見据えて、適時適切に内容の見直しを行っていくものとする。

(基本的事項)

1. 関係法令等の遵守

ドローン物流にあたっては、関係法令及び地方公共団体が定める条例を遵守し、その他ガイドライン等を踏まえて運用すること。航空法及び地方公共団体が定める条例については、国土交通省航空局のウェブサイト(https://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk10_000003.html)や「ドローン情報基盤システム 2.0(DIPS2.0)」(<https://www.ossportal.dips.mlit.go.jp/portal/top/>)も参考に、最新の情報を確認すること。

(河川区域内の土地の使用及び河川上空を活用する際の対応)

2. 河川法上の許可等について

河川は、誰もが自由に利用できる公共の空間であり自由使用が原則であるため、他の河川利用者による利用を妨げるものでなければ、河川区域内の土地の使用及び河川上空(河川区域内の上空)においてドローンを飛行させる場合、河川法上の許可等の手続きは特段必要ない。

ただし、高水敷や堤防等の河川区域内の土地に離着陸、中継等のための施設などを設置し、排他的・継続的に使用する場合、河川法上の許可等の手続きが必要となる。河川区域内の土地には、河川管理者以外が所有する土地(民有地等)もあることから、土地所有者を確認すること。

(「排他的」とは、他の河川利用者の使用を排除し、自由な使用に優先して独占的に使用することをいう。「継続的」とは、河川上空の使用が相当期間継続して、又は相当期間内に反復して行われることをいう。)

名寄河川事務所が管理する河川区域内の土地については、以下の申請先に必要な手続きなど確認すること。

申請先：名寄河川事務所(電話番号 01654-3-3177)

住所 名寄市西 6 条南 9 丁目

名寄河川事務所の管理区間は別紙に示す地図と河川管理区間一覧表にて確認すること。

河川管理区間一覧表

河川名	区間 上下流端	所 在
天塩川	上流端 (岩尾内ダム含む)	左岸 士別市朝日町国有林上川北部森林計画区 2159 林班ほ小班地先 右岸 同市同町茂志利 4752 番地先
	下流端	左岸 中川郡中川町字国府 4-3 番地 右岸 天塩郡天塩町字下コクネツ 3336-6 番地
岩尾内川	上流端 (岩尾内ダム)	左岸 上川郡朝日町国有林上川北部経営計画朝日事業区 35 林班は小班地先 右岸 同町国有林上川北部経営計画朝日事業区 29 林班い小班地先
	下流端 (岩尾内ダム)	天塩川への合流点
サックル川	上流端 (岩尾内ダム)	左岸 上川郡朝日町国有林上川北部経営計画朝日事業区 63 林班と小班地先 右岸 同町国有林上川北部経営計画朝日事業区 40 林班と小班地先
	下流端 (岩尾内ダム)	天塩川への合流点
似峽川	上流端 (岩尾内ダム)	左岸 上川郡朝日町国有林上川北部経営計画朝日事業区 96 林班へ小班地先 右岸 同町字新奥士別 4206 番地先
	下流端 (岩尾内ダム)	天塩川への合流点
於鬼頭川	上流端 (岩尾内ダム)	左岸 上川郡朝日町国有林上川北部経営計画朝日事業区 106 林班れ小班地先 右岸 同町国有林上川北部経営計画朝日事業区 97 林班る小班地先
	下流端 (岩尾内ダム)	天塩川への合流点
名寄川	上流端	然別川の合流点
	下流端	天塩川への合流点

河川名	区間 上下流端	所 在
サンル川	上流端 (サンルダム)	左岸 上川郡下川町字珊瑚 1518 番地 右岸 上川郡下川町字珊瑚 1081 番地
	下流端 (サンルダム)	一の沢川の合流点
サンル 十二線川	上流端 (サンルダム)	左岸 上川郡下川町珊瑚 730 番地 右岸 同町珊瑚 697 番地
	下流端 (サンルダム)	サンル川への合流点
風連別川	上流端	名寄市風連町字東風連 1282 番地先の国鉄橋下流端
	下流端	天塩川への合流点
剣淵川	上流端	左岸 士別市西士別町 1287 番の 1 地先 右岸 同市北町 414 番の 12 地先
	下流端	天塩川への合流点

また、河川区域内の土地の使用及び河川上空の活用にあたっては、河川管理上の支障が生じないようにするとともに、他の河川利用者や近隣住民の迷惑とならないよう努めること。他の河川利用者や近隣住民との間で問題が生じた場合は、ドローン物流の運航事業者等の責任において処理すること。

3. 事故防止

河川上空をドローン物流で活用する場合、河川利用者や河川に設置している施設(施設利用者を含む)への影響を考慮し、ルート選定を含め、事故の防止、影響の最小化に細心の注意を払うこと。

4. 事故対応

事故が発生した場合には、事故の概要を速やかに所管の河川事務所等や関係機関に連絡するとともに、ドローン物流の運航事業者等の責任において処理し、河川事務所等から指示があった場合には、その指示に従わなければならない。

天塩川(上流)を所管する河川事務所の連絡先は以下の通り。

連絡先：名寄河川事務所(01654-3-3177)

5. その他管理者等への手続き

橋梁や送電線などの河川横断工作物等の許可工作物は、その施設ごとに法令手続きや関係者調整が必要な場合もあり、ドローン物流の運航事業者等において必要な手続き等を実

施する必要がある。その場合、河川事務所等に関係者の有無、占用許可受者等の情報提供を求めることができる。

6. 河川利用等の状況把握

河川区域内において、防災訓練や花火大会その他の多数の者の集合する催しが行われている場合や工事を実施している場合にはその周辺の飛行が制限されること、また、ラジコン飛行場等として利用されている場合にはラジコン等を飛行させる者との調整が必要となることから、ドローン物流の運航事業者等は河川の利用状況を把握すること。河川区域内の催しや工事等については、河川事務所等から提供している情報を確認するとともに、必要に応じて河川事務所等に情報提供を求めることができる。

また、以下の河川区域内にヘリポートが設置されているため、飛行の際は位置の確認をするとともに、ヘリコプターの緊急離着陸の可能性があるため、近くにヘリコプターの存在を確認した際には速やかにドローンの飛行を中止すること。

ヘリポート一覧

名 称	所 在(緯度経度)
中川地区水防拠点	中川郡中川町字中川 (北緯 44 度 49 分 31 秒 東経 142 度 04 分 49 秒)
音威子府水防拠点	中川郡音威子府村字音威子府 (北緯 44 度 43 分 47 秒 東経 142 度 15 分 15 秒)
名 寄	名寄市東 9 号 8 線 (北緯 44 度 23 分 07 秒 東経 142 度 27 分 17 秒)
士別河川防災 ステーション	士別市東山町 3295 (北緯 44 度 11 分 16 秒 東経 142 度 25 分 45 秒)
岩尾内ダム	士別市朝日町岩尾内 7314 番地 (北緯 44 度 06 分 54 秒 東経 142 度 42 分 51 秒)

(飛行高さ及び運航調整)

7. 通常時の飛行

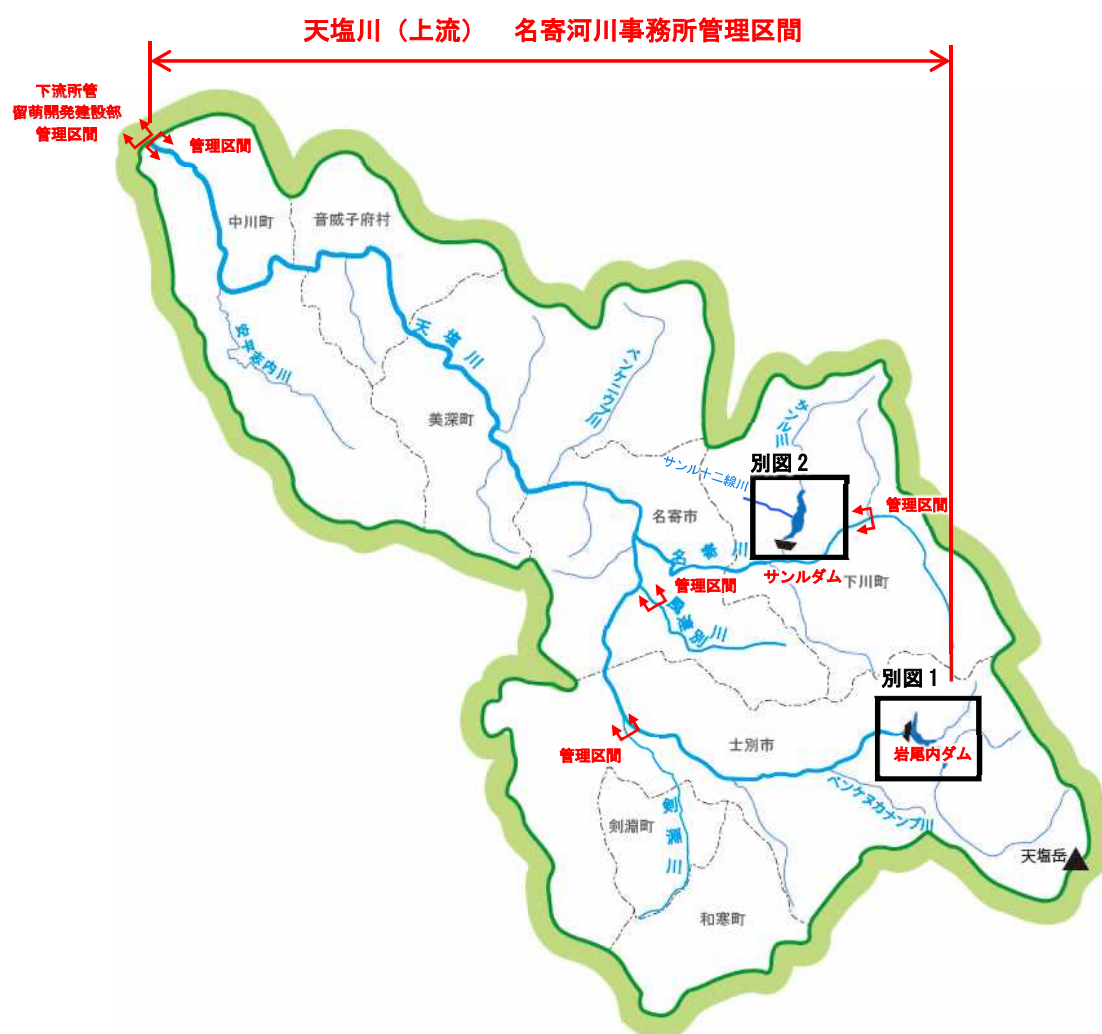
航空法の規定を踏まえ、河川区域内にある河川横断工作物等の物件の設置状況を確認し、地上又は水上の人又は物件との間に30m以上の距離をとることを原則とし、当該距離を確保可能な高度で飛行すること。また、河川事務所等がドローンを活用した河川巡視や施設点検等を行う場合や複数のドローン物流の運航事業者等が参入する場合などには、飛行ルートの重複又は近接により調整の必要が生じることがあり、河川事務所等が場を設けて関係者で調整する場合等が想定されることから、その際には協議に参加すること。

8. 緊急時の飛行

洪水発生時や大規模地震発生時などの緊急時に、河川事務所等による被災状況調査や緊急物資の輸送を行う際、飛行ルート重複又は近接により調整の必要が生じた場合は、河川事務所等からの調整に応じること。

※「運航事業者等」とは、ドローン物流の事業計画者及び運航事業者、サービス提供者を指す。

- ・「事業計画者」とは、物流事業者や地方公共団体など、物流網の維持や買物支援などの観点から、ドローン物流事業を計画する者をいう。
- ・「運航事業者」とは、事業計画者からの委託を受け、ドローン物流サービスの提供のため、ドローンを飛行させる者をいう。
- ・「サービス提供者」とは、運航事業者・物流事業者・携帯電話事業者・気象観測サービス提供者など運航に関する業務を行う者、商店・病院・薬局など配送される荷物等を提供する者及び配送先における配達人等をいう。



天塩川(上流)管理区間図



別図 1 岩尾内ダム管理区間図



別図 2 サンプルダム管理区間図